

Origin「原点」を追求して誕生した ESF (エッグ・シェイプド・フォルム)

1984年、虚実を廃し、機能に徹したスバルタンなフルフェイスとして誕生したラバイドは、幾たびものモデルチェンジを通して進化を続けてきた、アライの定番シリーズです。「ラバイドOr」は、2002年型として発売されるシリーズの新型、原点への回帰がテーマ。その名称、Orの由来もOrigin(原点)からで、ラバイドの原点であるスバルタンへの回帰をテーマに開発されました。スバルタンへの回帰とは、徹底した機能の追求を意味するものです。その結果として生まれたのが、鍛え上げられたフォルム「ESF」(エッグ・シェイプド・フォルム)です。走行中の安定感、走行音の低減のために、首回りの空気の流れをスムーズにしようと考え創り出された、新しいカタチです。

空気の流れに逆らわぬよう贅肉を削ぎ落として創られた「ラバイドOr」のESFでは、整流効果のみならず、装着したライダーの肩から上のラインを、美しくスリムに印象付ける効果も生まれました。正面から見た鍛え上げられた顔立を連想させるスバルタンなフォルムは、初代ラバイドの目指したところ。後方から見た首周りにつながるスリムで一体化したフォルムは、まさに機能を追求した結果より生まれた、ニューコンセプトフォルムです。

材質がどうのと言った議論を超えたはなし、スネル規格を凌駕する高い安全性の帽体には、頑強さだけでなく、一定以上の大きさがが必要です。そんな帽体のすそを、整流効果を上げるために、そのまましほれば着脱はしにくくなります。だからと言って、ホホ部のライナーを薄くしたら、規格の定めは無いからと言っても、安全性には問題です。

「ラバイドOr」では、安全性には一切妥協することなく、着脱がしやすい構造を生むべく知恵をしほりました。加えて、空気の流れに逆らわない、ライダーが美しく精悍に見えるフォルムをも追求しながら、コマ台の修正を経て完成されたのが「ESF」構造です。フルフェイスヘルメットの、未来のカタチがそこにあります。

- モデル名: **ラバイド-Or**
- 規格: スネルM2000・JIS規格
- 帽体: Super cLo (スーパー複合基材積層構造)
- カラー: 白、黒、アルミナシルバー、アルミナグレー、ファインレッド
- サイズ: (53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 価格: ¥37,000 (税抜き)



RAPIDE Or

